施策番号	2321									
心來留与	2321	.521								
施策名	都市内の交通網	都市内の交通網の整備								
概要	公共交通機関	「歩くまち・京都」の考え方を踏まえ、安全・快適な歩行空間を確保するとともに、 公共交通機関や自転車の利用しやすい条件を整備し、自動車交通に過度に依存しない公 共交通優先型の歩くまちを目指した交通網を整備する。								
担当局	建設局	共管局	都市計画局							
上位政策	232 多様な都	市活動を支える交通	基盤づくり							

# 施策の評価

# 1 客観指標評価

		21年度	22年度評価					
		20年度	21年度	前回值	最新值	目標値	達成度	評価
1	道路延長規格改良率(%)	С	С	59.0	59. 2	80.0	74.0%	С
2	自転車等駐車場の収容台数(台)	a	a	45, 330	48,006	43, 361	110. 7%	a
3	自転車等駐車場の設置箇所数(箇所)	a	a	96	111	78	142.3%	a
4	都市型レンタサイクルの設置台数(台)	С	С	570	799	627	127. 4%	a
5	バリアフリー全体構想に基づき事業を着手した旅 客施設数の割合(%)	a	a	53. 2	53. 2	53. 2	100.0%	a
6	-	_	_	-	ı	ı	_	_
7	-	_	-	-	-	-	_	_
8	-	_	_	-	1	1	_	_
9	_	_	_	-	-	-	-	_
10	-		_	-	_	_	-	
		a	a	,	客観指標	総合評価		а

# 2 市民生活実感評価

設問

市内の道路は安全・快適である。

市民生活実感評価	Ċ	l	(	i	(	<b>C</b>
有効回答数	750		616		583	
e:そう思わない	143	19. 1%	106	17.2%	102	17. 5%
d:どちらかというとそう思わない	185	24. 7%	145	23.5%	133	22. 8%
c:どちらとも言えない	234	31. 2%	228	37.0%	198	34.0%
b:どちらかというとそう思う	159	21. 2%	103	16. 7%	123	21. 1%
a:そう思う	29	3. 9%	34	5. 5%	27	4. 6%
回答	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
	20	20		1	22	



■e:そう思わない

- \* この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。
- \* 施策1344とは取組事項が類似することから、同じ客観指標等を使用して評価(一括評価)しています。

## 3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感評価)

	20	21	22		
客観指標総合評価	а	а	а		
市民生活実感評価	d	d	С		
総合評価	С	С	В		
重み付け	(理由)				
□ <b>客観指標</b> □ 市民の実感 この施策は、市民生活の充実感及び満足感を高めることが目的であるで、市民生活実感評価を重視する。					

# 4 原因分析・今後の方向性 ※客観指標総合評価、市民生活実感評価、事務事業評価の結果等を踏まえて記入

## 【原因分析】

- ・市民生活実感評価で「どちらかというとそう思う」という回答が4.4ポイント向上し、d評価からc評価となったことにより、総合評価がC評価からB評価に向上した。
- ・客観指標評価においても、「都市型レンタサイクルの設置台数」が、平成21年度の設置台数が大きく増加したことによりc評価からa評価となっただけでなく、他の指標も昨年度の高い評価を維持していることが、総合評価の向上に寄与している。

#### 【今後の方向性】

・安心・安全な歩行空間の確保のため、社会経済動向の変化に応じた交通基盤整備を着実に進めてい く。

## (参考) この施策を実現するための事務事業

		事業名	21年度予算 (千円)*	22年度予算 (千円)*	21年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当局
	1	都市計画道路網の見直し調査	15, 384	0	終了	都市計画局
	2	太秦天神川駅西部地域のまちづくり事業計 画の調査	25, 269	9,000	現状のまま継続	建設局
(従)	3	Ⅰ・Ⅲ・49久世梅津北野線(桂川橋梁)	6, 991	4, 991	現状のまま継続	建設局
(従)	4	Ⅱ・Ⅱ・29桃山石田線	1,623	1,623	現状のまま継続	建設局
従)	5	Ⅰ・Ⅲ・45羽束師墨染線	7, 068	4, 991	現状のまま継続	建設局
従)	6	<ol> <li>I. Ⅲ. 48吉祥院下鳥羽線</li> </ol>	11, 401	4, 318	現状のまま継続	建設局
(従)	7	I・Ⅲ・14葛野大路(太子道通〜丸太町通)	9, 491	4, 991	現状のまま継続	建設局
従)	8	Ⅱ・Ⅲ・19北泉通	24, 818	7, 318	現状のまま継続	建設局
従)	9	「京(みやこ)のみちデザイン指針」検討	21, 698	0	終了	建設局
従)	10	都市計画道路整備プログラム検討業務	7, 089	5, 089	現状のまま継続	建設局
従)	11	事業効果把握調査業務(国鉄嵯峨駅北通他)	3, 089	1,089	終了	建設局
	12	深草疏水通整備事業	0	0	現状のまま継続	建設局
従)	13	道路附属物自転車等駐車場	251, 463	210, 040	効率化等による見直し	建設局
従)	14	京都市自転車等駐車場条例に基づく自転車 等駐車場	16, 941	17, 096	現状のまま継続	建設局
ı	15	市営駐車場	226, 071	222, 028	現状のまま継続	建設局
Ì		京都市鴨東駐車場	0	0	現状のまま継続	建設局
Ì	17	京都市出町駐車場	69, 539	47,600	現状のまま継続	建設局
		京都市御池駐車場	181, 553	180, 506	現状のまま継続	建設局
従)		3・3・132向日町上鳥羽線	294, 361	494, 826	現状のまま継続	建設局
従)		Ⅰ・Ⅱ・3伏見向日町線	433, 046	25, 210	現状のまま継続	建設局
従)		3・3・6石見下海印寺線	0	0	現状のまま継続	建設局
従)		3・3・5中山石見線	158, 614	175, 369	現状のまま継続	建設局
従)		3・3・128久世北茶屋線	279, 915	4, 689	現状のまま継続	建設局
従)		葛野西通	123, 826	6, 171	現状のまま継続	建設局
従)		3・5・135大原通	117, 659	0	終了	建設局
従)		Ⅱ・Ⅱ・12御陵六地蔵線(第三工区)	11, 338	37, 257	現状のまま継続	建設局
		小川通の整備	13, 456	28, 876	現状のまま継続	建設局
従)		3・5・116山陰街道	10, 065	10,676	現状のまま継続	建設局
従)		羽束師橋関連道路他	53, 241	36, 365	現状のまま継続	建設局
従)		Ⅱ・Ⅲ・41西小路通	23, 575	10, 240	現状のまま継続	建設局
従)		Ⅱ・Ⅱ・28大津宇治線	6, 623	6, 077	現状のまま継続	建設局
従)	32	Ⅰ・Ⅲ・4京都貴船線	3, 845	7, 155	現状のまま継続	建設局
		合計	2, 409, 052	1, 563, 590		
		うち、主たる事業の合計	531, 273	488, 010		
		(従たる事業の合計) 算額には人件費及び施設管理に係る経費		(1,075,580)		

施策	各	2321 都市内の交通網の整備									
指標	各	道路延	道路延長規格改良率(%)								
担当	<b>主課</b>	ì	道路明示詞	課		2 2 2 - 3 5 6 6					
道路 <i>0</i> 2 指	標の意味	基づいて <b>未</b>	, 改良だ :示す指標		ている道路延長の	の割合 <b>3 算出方法</b> 規格改良済道			各延長(	各年度末	<i>(</i> )
A #1-1	<b>:</b>										
<u>4 数</u> {	前回	数値		数値	推移			目標値			
		∓度		丰度		数値			拠		達成度
数値	59	9.0	59	9.2	0.2ポイント増	80.0	改良率8	80%を目	標値とし	て設定	74.0%
	全国順		I ·		中長期目標	3.160					
数値	<u>位</u> -	数値	目標年次	達成度	植	<b>录拠</b> -		備考			
 5 評	西基準		<u> </u>	<u> </u>	 6 基準説明		J		フ 評値	話果	
	)数値が 以上					均等に20%刻みで	基準を		20	21	22
d:20%以 e:20%末		<b>ミ満</b>							С	С	С
<ul><li>施策</li><li>指標</li></ul>					さから,同じ客観 <b>容台数(台)</b>	指標等を使用して	て評価(	一括評価	f) してい	います。	
担当			転車政策			連絡先	2 2	2 - 35	6 5		
市内に <b>2 指</b> 市内の	<b>漂の意</b> の 自転車	主要自 <b>転</b> <b>未</b> 等駐車場	(車等駐車 場にどのく でです指標	くらい自	容台数(累計)	<b>3 算出方法</b> 各自転車等駐	• <b>出典等</b> 車場の収	<b>季</b> 【容台数0	り総数		
4 数		¥L /±		业厂/士	1	1		口坯法			
}		<u>数値</u> ∓度		·数值 F度	推移	数値		目標値 根	拠		達成度
数值	45,	330	48,	006	2676台増加	41,561	京	都市自転	車総合計	画	115.5%
	全国順 位	数値	目標年次	達成度	中長期目標	<b></b>	<b>—</b>				
数値	_ _	43, 361	22年度	110.7%		総合計画」に掲示		備考		_	
5 評価	西基準				6基準説明				7 評価	話男	
中長期 a:100%. b:80%以	月目標に 以上 (上100%)		態成度が			成をaとし,等間	隔に基		20	21	22
c:60%以 d:40%以 e:40%末	人上60%未								a	a	a

施策名 2321 都市内の交通網の整備												
指標名	指標名 自転車等駐車場の設置箇所数(箇所)											
担当課 自転車政策課				連絡先	2 2 2	2 – 3 5	6 5					
1 指	標の説明	<del></del> 明			· -		ı					
			に 車等駐車	車場の設	置箇所数(累計	)						
2 指	標の意味	——— 床				3 算出方法	・出典等				•	
		きる自転 を示す指	(車等駐車 計標	直場が市	内にど	市営自転車等駐されている自転				び都心部	形に設置	
4 数(		- N/I I <del></del> -		W/ 1-								
-		数値  年度	<u>最新</u> 21 <sup>左</sup>		推移	数值		目標値 根	拠		達成度	
数值	9	96	11	11	15箇所増	78	京	で都市自転	車総合計画	亘	142.3%	
	全国順				中長期目標		- Γ					
数値	位	数値	目標年次 22年度	達成度		根拠 総合計画」に掲示	_	備考				
	一 価基準	78	22平度	142.3%	<b>6 基準説明</b>	心口川凹」 (C搾)バ	J L			<b>斯特里</b>		
		対する遺	き成度が			を成をaとし,等間	隔に基			ı	20	
a: 100%. b: 80%.	以上				準を設定した。				20	21	22	
: 60%以	人上80% 大上60%オ	ト満							a	a	a	
担当	<b>á</b> 課	自	転車政策	課	連絡先 222-3565							
	<b>標の説</b> に こおける		·ンタサ~	イクルの	設置台数(累計	·)						
2 指			/の利用す	T 46 47 */-	3 <b>算出方法・出典等</b> 都市型レンタサイクルの総台数							
がどのく	らいか	を示す指		11. 正可数		御川型レンタ	9127	の 応 口多	<u></u>			
4 数(	<b>直</b> 前同	数値	最新	数値	10.45			目標値				
	204	丰度	21年	F度	推移	数值		根	拠		達成度	
数值	5	70	79	99	229台増	627		前年度〉	×10%増		127.4%	
	全国順	*F 1:=	口捶左头		中長期目標	-8 thn	Ţ					
数値	位	数値	目標年次	達成度	1	<b>艮拠</b>	_	備考				
	<b>価基準</b>				│ 6基準説明		1 [		7 評価	<b>斯結里</b>		
	-	対する達	重成度が			達成をa評価とし,	各基準		20	21	22	
a: 100% b: 95% c: 85% d: 80% e: 80%	6以上 以上100 以上95% 以上85%	%未満 6未満			を設定した。				C	C	a	

施策名

2321

都市内の交通網の整備

## 指標名

## バリアフリー全体構想に基づき事業を着手した旅客施設数の割合(%)

担当課

歩くまち京都推進室

連絡先

222 - 3483

#### 指標の説明

平成14年に策定された「京都市交通バリアフリー全体構想」で選定した14の重点整備地区及び重点整備地区選定 の対象となった地区において、バリアフリー化が必要とされる旅客施設のうち、地区移動円滑化基本構想策定に 着手した施設の割合。

### 2 指標の意味

すべての人にやさしい駅として、バリアフリー 化される施設整備の進ちょく状況を示す指標。

### 3 算出方法・出典等

地区移動円滑化基本構想策定着手施設数÷対象旅客施設 数×100

#### 4 数值

	前回数値	最新数值	推移		目標値	
	20年度	21年度	推移	数值	根拠	達成度
数值	53.2	53.2	増減なし	53.2	対象となる旅客施設(47)のうち,地 区移動円滑化基本構想策定に着手す る旅客施設(25)の割合	

	全国順				中長期目標
	位	数值	目標年次	達成度	根拠
数値	-	53.2	22年	100.0%	対象となる旅客施設(47)のうち,地 区移動円滑化基本構想策定に着手す る旅客施設(25)の割合

整備対象地区数 14地区 備考

#### 評価基準

#### 6 基準説明

a:53%以上

b:40%以上53%未満 c:30%以上40%未満 d:20%以上30%未満

e:20%未満

地区移動円滑化基本構想策定着手割合が 母数となる旅客施設のうち,地区移動円 滑化基本構想策定に着手する旅客施設が 占める割合(53%)をaとし,以下10%

単位で基準設定した。

平成18年度 地区移動円滑化基本構想策

定着手施設数 21, 対象施設数 47

平成19年度 地区移動円滑化基本構想策 定着手施設数 25, 対象施設数 47

平成20年度 地区移動円滑化基本構想策

定着手施設数 25, 対象施設数 47

平成21年度 地区移動円滑化基本構想策

定着手施設数 25, 対象施設数 47

#### 7 証価結里

<u> </u>	叫和不	
20	21	22
a	а	а